



成瀬ダム堤体打設工事

工事だより [第6号]

【発行元】

鹿島・前田・竹中土木JV 成瀬ダム堤体打設工事事務所
〒019-0803 東成瀬村椿川字立石30-1
TEL: 0182-23-5185
FAX: 0182-23-5186 (担当: 松村)

2020年2月発行

WEBサイトはこちら
www.narusedam.jp



工事に関してご不明な点がございましたら、お気軽にお電話ください。

基礎掘削工事等は冬期休工中ですが周辺工事を行っています



ダムサイト全景（下流より）2019年12月撮影

工事概要

工事名	成瀬ダム堤体打設工事(第1期)
発注者	国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所
工事場所	秋田県雄勝郡東成瀬村椿川地内
水系	1級河川 雄物川水系成瀬川
地質	緑色凝灰岩・凝灰角礫岩・凝灰質泥岩
工期	2018年5月9日～2022年12月9日 (1,675日、約55ヶ月)
ダムの目的	洪水調整 (F) ・流量機能維持 (N) ・農業用水の補給 (A) ・水道用水の供給 (W) ・発電 (P)

今後の予定

2/4	安全大会・安全祈願・避難訓練
2/11	JV・職長会 合同パトロール
2/20	安全衛生委員会
2/25	JV・職長会 合同パトロール
2/27	災害防止協議会

1月末現在の人数	元請職員	49人
	作業員数	74人
	合計	123人



左岸（施工状況）
2019年12月撮影



右岸（施工状況）
2019年12月撮影

現況報告

積雪のため、プラント関連工や基礎掘削工、CSG打設等のメイン工種は休止していますが、リムトンネル（覆工コンクリート打設）、付替2号トンネル内でのブロック製作・鍛冶作業及び試験室内でのCSG確認試験などの周辺工事については、除雪をしながら継続して行っています。



【安全講話（2019年12月）】

横手労働基準監督署からの依頼で、地元企業の現場代理人に向けて奈須野所長が安全講話を行いました。



【横手かまくら祭りへの支援（2020年1月）】

深刻な雪不足により、かまくらで有名な「横手の雪まつり2020」の開催が危ぶまれている中、成瀬ダムの施工業者が一致団結して、ダムサイト周辺の雪を横手市に運搬するボランティアを実施しました。その活動状況が1月21日の秋田魁新報にも掲載されました。

【ご挨拶】

副所長の渡邊 洋（わたなべ ひろし）です。ダムの現場は今回で5か所目となります。神奈川、埼玉、佐賀、福岡でダムを施工し、ダム以外では熊本地震の災害復旧工事（トンネル）や福島県での東日本大震災の復興現場にも従事していました。さて、今年はA⁺CSEL（クワッドアクセル）などの自動化施工が始まります。成瀬ダムは通常のダム工事と比べて、A⁺CSELと連携したCSG製造・輸送設備の運転管理が特に重要になります。様々なICT技術を駆使して施工を行う当現場を是非一度ご覧ください。また、施工の進捗に伴い、資材等の運搬車両の増加が想定されますが、現場内の安全はもちろんのこと、国道342号線の通行ルールやマナーを遵守し、地元の皆様方へご迷惑をお掛けしないよう、安全管理に取り組んでまいります。引き続きご支援ご協力をよろしくお願い致します。



鹿島・前田・竹中土木
特定建設工事共同企業体
成瀬ダム堤体打設工事事務所
副所長（機電担当）
渡邊 洋（鹿島建設）

工務2グループ長の寺内 健二（てらうち けんじ）です。当現場の監理技術者を務めており、着工当初から東成瀬村に来て2度目の冬を迎えています。私は今まで国内外で6つのダムを施工し、国内では4か所（福岡、鹿児島、佐賀、埼玉）、海外では2か所（インドネシア、ベトナム）のダムに携わりました。これまで日常生活や仕事の中で雪に触れることがなかったため、雪を考慮した工事の進め方には当初戸惑いましたが、地元の方々から頂いた知恵を基に、工事関係者と共に厳しい冬を乗り越え、壁のように見えていた雪が私たちの絆を更に深めてくれました。東成瀬村の雄大な自然の中で得た活力を成瀬ダムの施工に全力で注ぎ、地域の皆さんを守り、そして愛されるダムを造ります。工事に関して何かお気付きの点がございましたら、お気軽にご連絡ください。引き続き皆様からのご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



鹿島・前田・竹中土木
特定建設工事共同企業体
成瀬ダム堤体打設工事事務所
工務2グループ長（監理技術者）
寺内 健二（鹿島建設）

